

GAIKAN 外環journal ジャーナル

2003年6月第11号

〔発行所〕
国土交通省関東地方整備局
東京外かく環状道路調査事務所
〒158-8580 東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル7F
TEL/FAX 03-3707-1491(外環専用ダイヤル)
http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan

[東京外かく環状道路(関越道 ~ 東名高速間)]

沿線の区市長と意見交換会

5月30日(金)に開催される



区市長からはさまざまな意見が出された

国土交通省関東地方整備局と東京都都市計画局は、平成15年5月30日(金)東京都庁において東京外かく環状道路(関越道~東名高速)沿線の区市長との意見交換会(第3回)を開催しました。

意見交換会では、はじめに国と都から「外環沿線協議会の経過、沿線地域でのアンケート調査結果などの、最近の動向」と、東京外かく環状道路(関越道~東名高速)間に関する方針(3月14日)について報告しました。

外環計画と大深度地下

続いて国と都から「方針」を軸に地元の皆さんの意向等を把握し、早期に結論を出していきたい」と説明し、「インターチェンジ、地上部街路の必要性を含め、議会において議論を進めていただき、区市としての意見をとりまとめたい」と要請しました。

外環計画については、絶対必要、早期整備を「やるなら早く、早く、沿線への影響を少なく」、地下化を前提にすれば賛成「有用性は理解」など早期に結論を出すことを求める意見、地下化については、大深度地下利用を前提

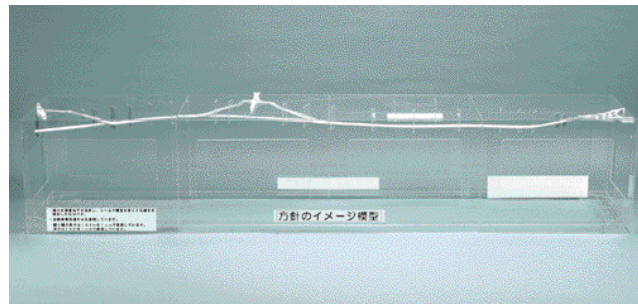
とした議論であれば、市議会の考え方も変わっていくだろう」と、大深度地下には一定の理解「など理解を示す意見が出されました。また、住民の意見に耳を傾け、合意形成を図りつつ、早期実現を」など合意形成を重視する意見、「関連道路の整備、西武新宿線等と一体的に検討する必要がある」と、支援していただきたい「、地上部の活用について総合的に検討すべき」などの意見もありました。

インターチェンジ

インターチェンジについては「青梅街道インターチェンジはぜひ建設して欲しい」という積極的な意見、「世田谷通りは慢性的な渋滞が発生しており、現状のままではインターチェンジの設置は困難」、「青梅街道インターチェンジには練馬、杉並両区の意向の把握をして欲しい」等の慎重な意見、「インターチェンジについては、地元説明会を行うなど、幅広く情報公開して議論して欲しい」など、オープンに議論して欲しいとの意見が出されました。

環境調査

「環境・安全対策は考えられる最大の知見で対応をして欲しい」など、周辺環境への配慮を求める意見がありました。「環境に与える影響等のデータを提供していただきたい」、「大気、地下水、湧水、動植物等について、早期に環境調査を行って欲しい」と「より多くの住民の意見に耳を傾け、合意形成を図っていただきたい」など、具体的な環境調査や幅広い情報提供を求



「方針」のイメージ模型

める意見が多く出ました。

合意形成と情報提供

「住民の合意の配慮が必要」議会、市民に納得してもらえる情報提供、進め方をしていたら良かった、など、住民の合意形成と情報提供の重要性にふれた意見が多く出されました。

【なお意見交換会の概要メモはホームページでご覧になれます】

東京外かく環状道路(関越道 ~ 東名高速間)に関する方針について

国土交通省
東京都

国土交通省と東京都は、1月10日に公表した外環の方向性について沿線自治体との意見交換等を踏まえ、下記のとおり、外環の方針を定めた。今後、この方針を軸に地元の意向等を把握し、早期に外環に関する結論を出していくこととする。

記

外環整備は喫緊の課題で1日も早い整備が望まれるため、早く、安く完成できるよう十分考慮し、沿線への影響を小さくする。

このため、

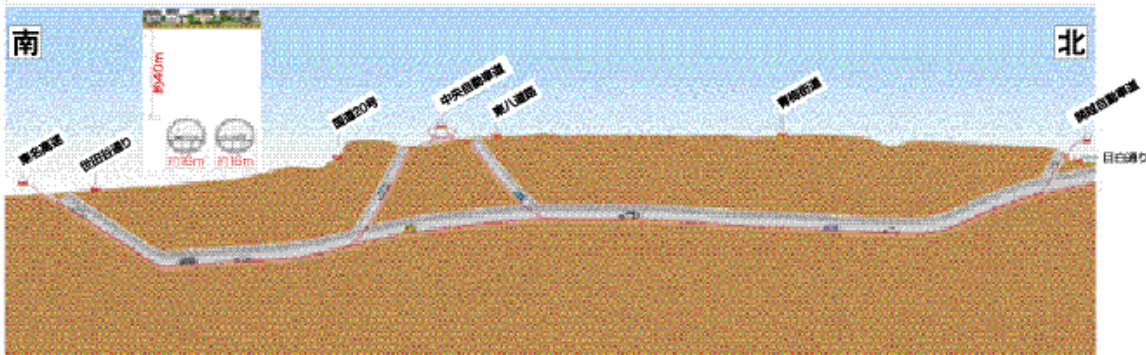
- ・外環本線は、シールドトンネル2つのジャンクションを基本構造とする。
- ・トンネル構造は、3車線を収容する長距離シールドトンネル2本とし、外径は約1.6mに縮小する。
- ・地上部への影響を小さくするため、極力、大深度地下を活用する。

インターチェンジについては、今後、地元の意向等を踏まえながら、設置の有無について検討する。その際、設置要望のあった青梅街道インターチェンジについては、さらに地元の意向を把握していく。その他のインターチェンジについては、ジャンクション構造の一体的活用について検討する。

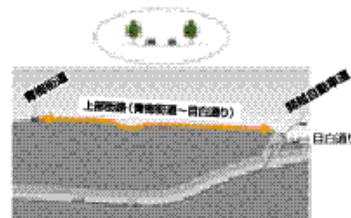
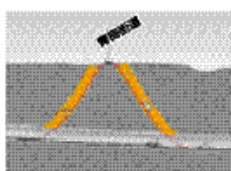
地元において地上部整備の方向が定まった場合、大深度区間であっても、地元の意向を踏まえながら、その整備を支援していくものとする。なお、青梅街道から目白通りについては、地元の意向を踏まえながら、地上部街路の設置を検討する。

この方針について、沿線の住民や自治体等の関係者から幅広い意見や意向を把握するため、模型等を活用したわかりやすい資料や情報の提供を行う。

東京外かく環状道路(関越道 ~ 東名高速)に関する方針



追加施設及び上部街路の検討



住民と行政が話し合う沿線協議会

これまでの議論の「中間とりまとめ」へ

東京外かく環状道路(関越道・東名高速)の計画について、計画沿線7区市の住民と7区市、国土交通省、東京都の担当者で協議する「PI外環沿線協議会」(略称:沿線協議会)が都庁5階大会議場で開催されています。

第15回・3月4日(火)

影響について議論

「この日は、必要性の有無効果と影響」について話し合いが行われました。

外環計画全体については、「議論の過程で課題が生じた場合、行政は『止めることも視野に適切な対応をする』と宣言できるか」、「住民参加でPIを監視する機関を作り、今後は議論していくべき」という意見が出されました。

第16回・3月27日(木)

国と都の対応について議論

3月14日に国土交通大臣及び石原東京都知事が発表した「外環



5月29日に開催された第20回PI外環沿線協議会

沿線協議会では、第15回から必要性の有無(効果と影響)について本格的な協議が行われました。なお現在の協議員の任期(1年間)の終わる6月には、これまでの議論の「中間とりまとめ」を行なう予定です。

第17回・4月8日(火)

論点項目の再整理

この日は討議の前に国と都から報告があり、この方針を軸に地元の意向等を把握し、早期に外環に関する結論を出していくと説明しました。

「ここでは、この方針の報道について、国及び都の対応は信義則に反するとともに信頼関係を著しく損なうものだ。」「提案するものが市長、議会、協議会に伝える前に新聞に出てしまう」という議論がありました。

会議には、協議員からそれまでに提出された質問や意見を整理分類した資料、必要性の有無に関する論点項目の整理、が運営懇談会から報告され、これに基づき議論を進めていくことが確認されました。

第18回・4月24日(木)

地上部街路について議論

この日は討議の前に4月16日、19日の両日に行われた「現地視察」と第5回運営懇談会の報告が行われました。

運営懇談会から「外環本線トンネルの地上部の街路については、今議論している外環道の必要性の有無とは切り離し、必要性の議論がある程度集約された段階で議論していく」と論点項目に追加すること、オープンハウスを各

地区で開催することが提案され、各地区で対応していくことになりました。

会議では必要性の有無効果と影響)について議論を行いました。協議員からはジャンクショップインターチェンジ周辺の交通量について、換気所や換気処理について、地上部街路の議論の進め方についての意見が出されました。

協議会の冒頭、外環の地上部街路についての議論の進め方について、東京都より、高速道路の議論がある程度集約された段階で、地上部街路の議論を行うこととする」との説明がありました。

必要数や位置を検討していく」との説明がありました。

第19回・5月13日(火)

換気所について質疑

この日の会議では設置される換気所の数、設置場所について具体的に説明を求め意見がありました。

これに対して国の協議員から「換気所は最低3カ所は必要と考えている」等の説明がありました。

またこの日、国から各ジャンクション等の模型が資料として提出されました。

会議では環境に与える影響について議論が行われ、「青梅街道インターチェンジは建設計画予定地が学校に近くて、設置は無理ではないのか」、「善福寺池が元に戻らなくなるのではないか」という意見が出る一方、「青梅街道インターチェンジは設置されなければ困る」などの意見も出されました。

「予測の前に環境の現状がどうなっているのか調べる必要がある」という意見に対しては、国の協議員が「専門家の意見を聞きながら、現地調査を行いたい」と答えました。環境アセスメントにおいても、PIの必要な方法を考える必要がある」という意見が出されました。

今後の開催日程
第22回 6月26日(木)
第23回 7月8日(火)
第24回 7月24日(木)

協議員が換気所などを視察

PI外環沿線協議会では、去る4月16日(水)と19日(土)の両日、計16人の協議員が参加して首都高速中央環状線の換気所などの施設を視察しました。

首都高速中央環状新宿線西新宿シールドトンネル(建設現場) 首都高速中央環状王子線飛鳥山換気所 国道357号京浜島換気所(脱硝技術) 東京湾アクアライン技術資料館(海ほたる)



シールドトンネル内で説明を聞く協議員

視察した施設は、外環を地下化した場合に必要となるシールドトンネルや換気所など参考となる施設で、担当者から詳しい説明を受けながら視察しました。



西新宿のトンネル建設現場



飛鳥山換気所

第20回・5月29日(木)

環境について質疑

協議会の冒頭、換気所について国土交通省より「換気所は、今後検討していく外環道本線及び連絡路の延長、勾配や交通量等に基づき、必要となる風量等を算出して、換気所の

PI外環沿線協議会の議事録と資料および「概要メモ」はホームページでご覧になれます。(下記参照)

東京外かく環状道路調査事務所へお気軽にお立ち寄りください。

資料請求はフリーダイヤルへ

ご質問、ご意見をお待ちしています。

フリーダイヤル ☎0120-34-1491 (TEL&FAX)
電話受付時間 平日9:15~17:30

時間 9:15~17:30(月~金)

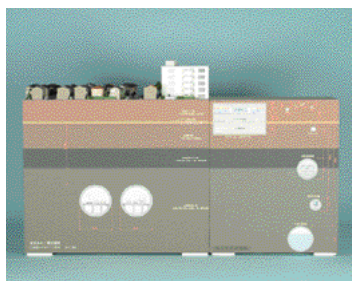
住所 〒158-8580

東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル7階

TEL&FAX 03-3707-1491 (外環専用ダイヤル)

e-mail gaikan@ktr.mlit.go.jp

ホームページ http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan



大深度地下構造の模型



東京外かく環状道路調査事務所

東急田園都市線 用賀駅 北口 徒歩1分